



教育普及 みる。つくる。かんじる

朝のおとなの 1010 [てんてん] 講座・お話から体験まで

美術の世界に親しみやすくなるワークショップ・レクチャーです。夜は忙しくて参加できない方に向けて、午前10時10分から行います。

夜のおとなの金曜講座・お話から体験まで

日常の中にある美術や美術作品のお話会です。仕事帰りのひととき、美術館で過ごしてみませんか。「見るは楽しい教材ボックス」「大分県から絵の具をつくる」「美術からみた文化」「素材と技術」のテーマから行います。

ワークショップ 春夏秋冬・体験から鑑賞まで

身体と感覚を活性化させる遊びや制作と、みんなでコレクション展示室の作品を視ることを組み合わせたワクワク・ドキドキのワークショップです。

アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ！

小さい子どもから大人まで、美術館に来た人は誰でも参加できるワークショップです。いろいろな素材に触ったり、描いたり、つくりたりします。内容は当日来てのお楽しみです。

特別ワークショップ&レクチャー

美術の世界が広がるとっておきの時間です。美学・美術史の話や専門的な技法講座をはじめ、美術以外の分野の専門家を招いての講座も開催します。

スクールプログラム

学校や園を対象とした「みる」「つくる」「かんじる」を組み合わせた美術体験プログラムや、学校の先生のための講座などを開催します。



「びび」とは大分県立美術館とiichiko総合文化センターを中心に大分県の芸術・文化を多くのみなさんに楽しんで、そして広げてもらうためのメンバーシップです。大分県立美術館の企画展、コレクション展を無料または割引料金でご覧いただけます。

詳しくはこちら <https://www.opam.jp/page/information.html>

アクセス

JR 大分駅府内中央口《北口》から徒歩 15 分
大分 IC から車で 10 分



〒870-0036 大分市寿町 2 番 1 号

TEL : 097-533-4500 FAX : 097-533-4567

<https://www.opam.jp>

開館時間 10:00 ~ 19:00 ※金曜日・土曜日は 20:00 まで (入場は閉館の 30 分前まで)

休館日 原則無休 (館内点検等による臨時休館を除く)

駐車場 ◎屋外駐車場 (143 台) 利用時間 24 時間

◎地下駐車場 (107 台) 利用時間 8:00 ~ 23:00 ※利用時間外出入庫不可

利用料金 最初の 30 分以内 無料

30 分を超える場合 200 円 / 1 時間を超え 30 分ごと 100 円

※ただし、23:00 ~ 8:00 は 900 円を上限とする



2021.4 ~ 2022.3



大分県立美術館 年間スケジュール

コレクション展

料金 一般 300 (250) 円、大学・高校生 200 (150) 円

会場 3 階 コレクション展示室

※() 内は有料入場 20 名以上の団体料金 ※中学生以下は無料

※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者 (1 名) は無料

コレクション展Ⅰ 大分、美の回廊

5 月 18 日 (火) ~ 7 月 12 日 (月)

[休展日] 6 月 16 日 (水)

大分県立美術館の所蔵品から、福田平八郎、高山辰雄ら、大分ゆかりの作家たちの作品を中心に優品をご紹介します。自然豊かな環境に培われた柔らかな感性と、ユニークな文化風土を反映した作品の数々から、大分の美の粹を感じ取っていただければ幸いです。



高山辰雄《地》1975 年

コレクション展Ⅱ OPAM のにんきもの

7 月 16 日 (金) ~ 9 月 12 日 (日)

[休展日] 8 月 11 日 (水)

OPAM のにんきもの、大集合！朝倉文夫や山本常一の動物をモチーフとした彫刻作品、歌舞伎の人気役者を描いた役者絵など、様々な視点から OPAM のアイドル的作品をご紹介します。

この夏、OPAM で推しの作品を見つけてみよう！



コレクション展Ⅲ 豊の国・温故知新

11 月 9 日 (火) ~ 12 月 20 日 (月)

[休展日] 12 月 1 日 (水)

異文化を積極的に受け入れる進取の気風に富む大分。大友宗麟の時代の南蛮文化や、江戸時代後期より田能村竹田を中心には廣く普及した豊後南画、近代以降に芸術として大きく花開いた竹工芸、これらの豊の国の芸術文化の足跡を辿るとともに、現在へつながる影響などについてもご紹介します。



田能村竹田《琴客觀瀑圖》1834 年

コレクション展Ⅳ 池田栄廣生誕 100 年・吉村益信没後 10 年 革新と前衛の美術

12 月 24 日 (金) ~ 2022 年 2 月 14 日 (月)

[休展日] 1 月 19 日 (水)

既成の概念や形式に留まらず、革新的、前衛的な表現を目指した美術をご紹介します。とくに池田栄廣をはじめとした戦後日本画の動向や、1960 年、ネオ・ダイナミズム・オルガナイザーズを結成した前衛芸術家・吉村益信の活動や作品を特集します。



吉村益信《Neon Cloud-Neon ネオン雲》1966 年
江藤哲《春》1952 年

コレクション展Ⅴ ボタニカル・ガーデン

2022 年 2 月 18 日 (金) ~ 4 月 11 日 (月)

[休展日] 3 月 16 日 (水)

春の訪れを感じさせる花や緑豊かな木々。大分県立美術館では、植物をモチーフにした作品も幅広く所蔵しています。工芸の分野では、生誕 110 年を迎える樺原長甫を中心に、また、洋画の分野では、江藤哲などの作品をご紹介します。植物の見せる様々な表情をお楽しみください。

2021.3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2022.1

2

3

4

企画展

びじゅチューン！×OPAM
なりきり美術館佐藤雅晴 尾行
存在の不在／不在の存在

サンリオ展

生誕 110 年記念
糸園和三郎展相田みつを全貌展
GENKYO 横尾忠則

コレクション展

大分、美の回廊

OPAM のにんきもの

豊の国・温故知新

池田栄廣生誕 100 年・吉村益信没後 10 年
革新と前衛の美術

ポタニカル・ガーデン

共催展

第 39 回高山辰雄賞ジュニア美術展

第 57 回大分県美術展

第 40 回大分県ジュニアデザイン展

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

企画展

2021.4 → 2022.3



9.18 土 → 10.31 日

生誕 110 年記念 糸園和三郎展
～魂の祈り、沈黙のメッセージ～

糸園和三郎（1911-2001）は大分県中津市出身。昭和初期から人間の内面世界や心象風景をテーマとして、戦後の日本画壇に独自の足跡を残した洋画家です。本展では初期から戦後の社会性の強い作品群、さらに詩情とヒューマニズムあふれる晩年へと変遷する糸園の画業を、代表作と関連資料により紹介します。常に社会とそこに生きる人々を静かに見つめ、絵筆を持ち続けた糸園の真摯なメッセージを、時代を超えて今、お伝えします。



料金 一般 800(600) 円、大学・高校生 500(300) 円

会場 3 階 コレクション展示室

2.19 金 ▶ 5.9 日 休展日 3月22日(月)、3月29日(月)
4月19日(月)びじゅチューン！×OPAM
なりきり美術館

なりきると、びじゅつがどんどん楽しくなる！OPAM に NHK E テレ「びじゅチューン！」がやってきます！「見返り美人図」や「麗子微笑」「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など、「びじゅチューン！」で歌になったびじゅつ作品の複製や映像を使った体験展示を行います。キーワードは「なりきり」。絵に登場する人物や絵を描いた人になりきって、びじゅつのなかで遊んでみよう！また、「びじゅチューン！」のコンテンツに関連した多くの美術作品も紹介します。

料金 一般 300(250) 円、大学・高校生 200(150) 円

会場 1 階 アトリウム、3 階 展示室 B・コレクション展示室

11.26 金 ▶ 2022.1.23 日

相田みつを全貌展
～いのちの尊さ ことばのチカラ～

板木県足利市に生まれた相田みつを（1924-1991）は、戦中戦後の動乱期に書の世界に身を投じ、「いのち」の尊さを見つめながら、独特的の文字で自らの言葉を書く作風を確立しました。1984 年の作品集『にんげんだもの』がベストセラーとなり、広い世代の共感と感動を呼びおこしました。本展は、生きる勇気を与えてくれる相田みつをの世界を、代表作をはじめ未発表作品など約 130 点と貴重な資料を通してご紹介する展覧会です。

料金 一般 1,200(1,000) 円、大学・高校生 800(600) 円
小中学生 500(400) 円

会場 3 階 展示室 B

5.15 土 ▶ 6.27 日

佐藤雅晴 尾行
存在の不在／不在の存在

大分県臼杵市に生まれた佐藤雅晴（1973-2019）は、日常風景をビデオカメラで撮影した後、パソコン上でペンツールを用いて慎重にトレースする「ロトスコープ」技法でアニメーションや平面の作品を作成。観る者に、現前に映る事物の存在感とともに、その逆にあたる不確かさや儂などを感じさせる独特の世界観により、国内外で高い評価を受けるなか、45 歳の若さで惜しまれながら亡くなりました。本展では、代表作の《Calling》《東京尾行》《福島尾行》など、佐藤の活動の全貌を紹介します。

料金 一般 800(600) 円、大学・高校生 500(300) 円

会場 1 階 展示室 A

12.4 土 ▶ 2022.1.23 日

GENKYO 横尾忠則
「原郷から幻境へ、そして現況は？」

横尾忠則（1936 年生まれ）は、1960 年代初頭よりグラフィック・デザイナー、イラストレーターとして活動を開始し、日本の土俗的なモティーフとポップ・アート的な感覚を融合させた独自の表現で注目されました。1980 年代には「画家・芸術家」へと活動領域を移し、斬新なテーマと表現により作品を次々と発表し、高い評価を得ます。「原郷」とは、横尾の作品を理解する鍵であり、変幻自在な絵画世界を支えるイメージの源泉です。本展は、絵画やグラフィック作品を通して、横尾の生涯の展開をたどり、その芸術の全貌を明らかにします。

料金 一般 1,200(1,000) 円、大学・高校生 1,000(800) 円

会場 1 階 展示室 A

7.10 土 ▶ 9.5 日

サンリオ展
～ニッポンのカワイイ文化 60 年史～

サンリオは 2020 年で創業 60 年を迎えました。ハロー・キティやマイメロディなど、400 以上のキャラクターを生み出したサンリオの歴史は、世界からも注目されている「カワイイ文化」の歴史そのものといっても過言ではありません。本展では、初公開のキャラクター原画や、当時のグッズや出版物のほか、サンリオショッピングや制作室のジオラマや映像、さらにはキャラクターをテーマとしたアート作品などを含めて展示します。「カワイイ」を生み出すサンリオの成長と発展、その独創的ビジョンを紹介します。

料金 一般・大学生 1,400(1,200) 円、高校・中学生 1,000(800) 円
小学生 800(600) 円、3 歳以上 400(300) 円

会場 1 階 展示室 A

共催展

第 39 回高山辰雄賞ジュニア美術展

会期：8 月 17 日(火)～8 月 22 日(日)

会場：3 階 展示室 B

観覧料：無料

主催：高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会

お問い合わせ：大分合同新聞社 マーケティング統括 Tel:097-538-9647

第 57 回大分県美術展

会期：9 月 14 日(火)～10 月 17 日(日) 休展日：9 月 27 日(月)、10 月 4 日(月)、10 月 5 日(火)

会場：1 階 展示室 A / 3 階 展示室 B

観覧料：一般 500 円 大学生・高校生 300 円

主催：大分県美術協会

お問い合わせ：事務局長 池部俊之 Tel:097-541-3316

第 40 回大分県ジュニアデザイン展

会期：2022 年 3 月 23 日(水)～3 月 27 日(日)

会場：3 階 展示室 B

観覧料：無料

主催：大分県造形教育研究会

お問い合わせ：大分市立小佐井小学校 Tel:097-592-1063